

Q. アニメーション文化学部について大学とどう連携するのか

A. アニメを産業振興のためのツールと考えたい



ここを聞きました

- マンガ文化のまちづくり推進について
- 起業支援について

大学の新学部と連携してアニメを通じた地域活性化を

石井 吉備国際大学にアニメーション文化学部ができるが、市は大学とどのように連携していくのか。

生産者と販売者を結ぶものづくりの拠点整備を

石井 日本でもふえつつあるフェアブラボのような、生産者と販売者を結びつけるものづくりの拠点となる場所を整備できないか。

政策監 新年度に産官学連携事業として100万円の予算を計上している。市が取り組んでいる漫画文化のまちづくりを進めるために大学と連携して調査研究を行うことを考えている。市と大学がそれぞれの持ち分の中で地域の活性化につながるような事業などを進めていきたい。

石井 市が製作者支援を行うことも可能ではないか。

政策監 具体的な計画はない。民間から要望があれば側面的に支援をしていきたい。

産業経済部長 起業や創業支援は非常に重要な取り組みだと考えている。NPOなどが高梁市に拠点を置く場合の支援については充実してきていると思っている。

石井 高梁市在住の工芸作家に作品発表の場所を提供してほしい。産業経済部長 収益事業ではなく、純然たる交流や発表の場であるなら、公共施設などをお貸ししている。

Q. 駅前図書館整備に合わせ、雑誌スポンサー制度と読書通帳を導入すべきではないか

A. 図書館整備の一環として検討していく



ここを聞きました

- 駅前図書館について
- 臨時給付金の支給準備について
- 自治体主体の資金調達について

雑誌スポンサー制度と読書通帳を導入すべきではないか。

川上 雑誌スポンサー制度は、図書館の経費削減と雑誌コーナーの充実を図るもので、企業、団体などがスポンサーとなって雑誌の購入費用を負担するかわりに、雑誌のカバーに広告を掲載するものである。新たな財源確保と駅前図書館の充実を図るために導入すべきではないか。

教育次長 図書資料整備についての提案として検討していく。

川上 市民に読書に親しんでもらう取り組みとして、読書通帳を導入する動きが全国各地で見え始めている。借りた本の履歴を目に見える形で残すことによって、子どもを中心に市民の読書への意欲を高める効果が期待される。読書通帳の導入は、財政負担を抑えた効果的な取り組みとして推進できるものである。読書通帳についても導入を検討すべきだ。

教育次長 非常にいい事例を示していただいた。読書活動の一層の推進を図る方策として今後検討させていきたい。

誰でも「読書通帳」が発行ができます！

読書通帳は、市内の図書館や移動図書館で借りた本の、本のタイトルや貸出日などを、読書通帳に印刷することができます。

読書通帳1冊100円(発行手数料)

発行場所 駅前書庫1階カウンター

秋あひふり 萩市立秋図書館 雑誌スポンサー募集!!

図書館へのご支援をお願いします。

読書通帳は、市内の図書館や移動図書館で借りた本の、本のタイトルや貸出日などを、読書通帳に印刷することができます。

発行手数料 1冊100円(発行手数料)

発行場所 駅前書庫1階カウンター

Q. 図書館建設(複合施設)に12億円。どのような比較検討を行ったのか

A. 計数的な数値について現時点では示すことはできない



ここを聞きました

- 旧高梁市における地域公共交通総合連携計画の実施状況について
- 高梁市における子ども・子育て支援施策について
- 図書館建設について
- 総合計画の策定と財政的な裏付けについて

図書館建設について

宮田 平成25年3月議会で総務文教委員会は「委員から建設場所について再考を求めたところ、執行部からは、市民の意見を聞きながら再度2カ所の候補地で検討したいとの答弁がありました」と報告したが、この2案においてどのような財政的比較検討を行ったのか。

教育次長 計数的な数値については本日ここで示することはできない。

宮田 中央図書館の移動図書機能についてはどのように対応するか。教育次長 しかるべき時期にきちんと説明させていただく。

Q. 地域局の施設整備方針を示すべきではないか

A. 総合計画の後期計画で方向性を示す



ここを聞きました

- 農業振興地域制度について
- 各地域局について
- 平成26年度予算について

農業振興地域制度について

内田 農業振興地域の指定は、国の農用地保全、有効利用の基本方針に従って決定した。現状では、周辺地域の農用地が耕作放棄地や山林化している。実態に即した農用地利用計画の見直しに取り組むべきではないか。

産業経済部長 部分解除で対応してきたが、見直しについては20年以上行われていない。現状にあった計画にすべきであると考え、農政が大きく変化している現在、動向を注視しながら市としての考え方を整理したい。

各地域局施設整備について

内田 地域局の施設は合併前と同様に維持しているが、不要になった建物、不必要な経費が発生している。都市ビジョン地域編の観点

からも早期に今後の方向性を示すべきではないか。

総務部長 総合計画の後期計画において今後の整理、統合、廃止等について方向性を示したい。

いきいき外出支援事業について

内田 本制度は75歳以上の高齢者に外出支援のバス・タクシー券を交付する事業である。なぜ、高梁有漢地域に限定するのか。全市対象とすることを求める。

市長 4条バス路線の地域では外出支援が十分でない。高梁西地区では、ふれあいタクシー等で支援している。今後、公共交通検討会で協議し不公平感がないようにしたい。



委員から、建設場所について再考を求めたところ、執行部からは、市民の意見を聞きながら再度2カ所の候補地で検討したいとの答弁がありました。

2013年5月号 P11 総務文教委員会 報告文書の一部